

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和8年4月30日（木）

2 確認箇所

増設多核種除去設備（図1）

3 確認項目

増設多核種除去設備の状況

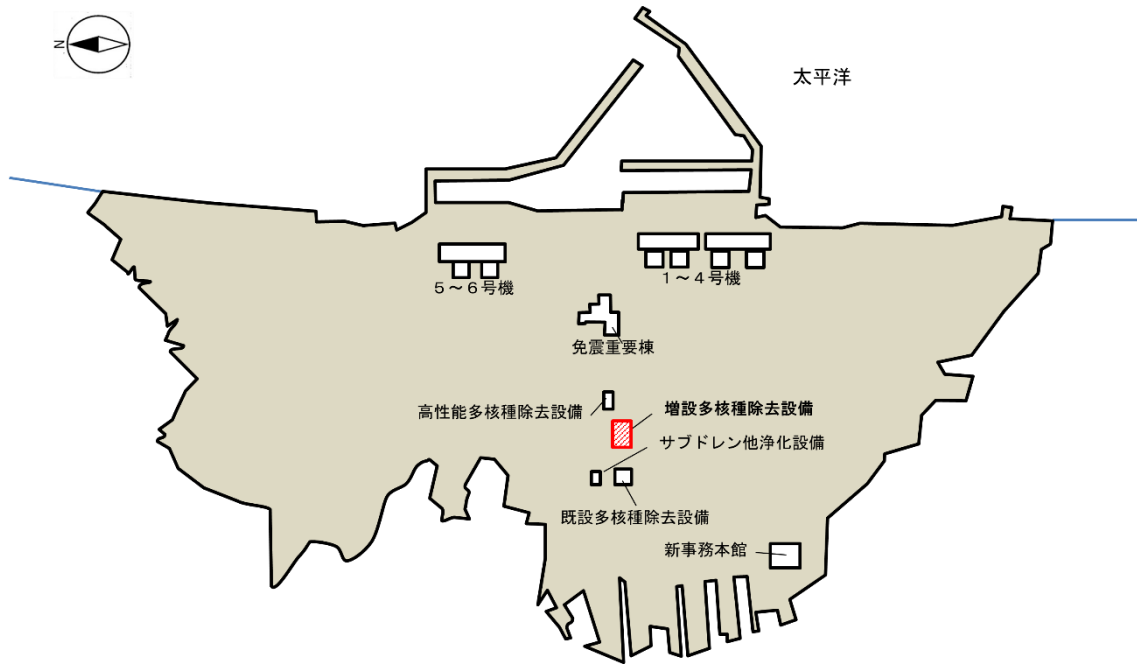
4 確認結果の概要

東京電力は、「増設多核種除去設備配管洗浄作業における身体汚染※（令和5年10月）」のトラブル事象を踏まえ、増設多核種除去設備（以下「増設ALPS」という。）洗浄用配管の新設などの恒久対策が進められている。増設ALPSは、3系統（A系、B系及びC系）で構築されており、この対策によって循環洗浄が可能となっている。このうち、B系においては、新設された循環洗浄用配管を使用した洗浄作業が実施されている。

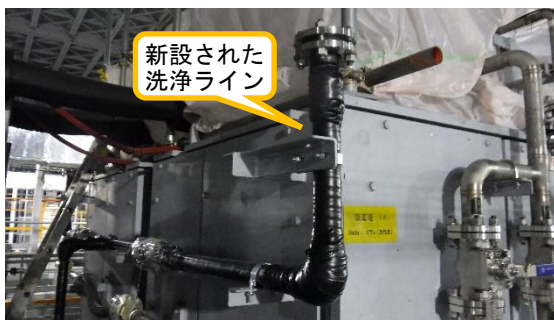
今回、洗浄用配管等の設備の状況について確認した。（前回確認：令和8年3月26日）

- ・増設ALPSの全ての系統において、吸着塔から吸着塔入口バッファタンクへの循環洗浄用の配管が設置されていた。（写真1）
- ・洗浄用配管の接続部については、万が一の漏えいに備えて養生されており、建屋内への漏えいを防止する措置が講じられていた。（写真2）
- ・確認した範囲において、建屋内の各設備及び配管からの漏えい等の異常は認められなかった。（写真3）

※ 増設多核種除去設備配管洗浄作業における身体汚染：令和5年10月25日、増設ALPSにて、クロスフローフィルタ出口配管内の洗浄作業を実施していたところ、洗浄廃液を移送していた受入タンク内から仮設ホースが外れ、近傍で作業していた作業員に洗浄廃液が飛散した。洗浄作業に携わった作業員5名のうち4名に身体汚染が生じた。



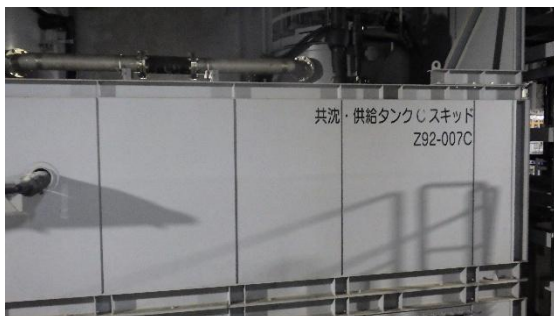
(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1) 吸着塔 (A系) における洗浄ライン



(写真2) 配管の養生



(写真3-1) 共沈タンク



(写真3-2) 沈殿槽



(写真 3-3) 吸着材洗浄装置



(写真 3-4) 炭酸ソーダタンク

5 プラント関連パラメータ等確認

確認したデータについて、異常値は確認されなかった。